

平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【幼児教育学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18JEDK1001	初期演習	1	初年次学生が、学院の教育理念と歴史について学び、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培い、学科の教育目標を達成するように導くことである。	(1)「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。 (2)主体的に学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文章に表現するなどの基礎的な能力を養う。 (3)学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。 (4)女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。				◎	○			◎	
18JEDK1181	英語会話 I	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	英語の基本的な文法事項などを復習し、コミュニケーション活動を通して基本的な会話ができるようになることを目標とする。	◎		○						
18JEDK1121	教育とICT	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	(1)本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 (2)基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて、安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 (3)レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。	○		◎				○		
18JEDK1123	体育Ⅱ(実技)	1	体育・スポーツについての体験的活動と講義を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。体育実技の授業を通して体力の保持増進に努め生涯を通して運動に親しもうとする態度を養う。	(1)各種運動を安全に実施するための基礎的知識を理解する。 (2)各種運動を安全に実施することができる。 (3)楽しい体育をどのように具現化していけばよいのかを、自らが体育実技を通して体得する。 (4)幼稚園教師・保育士として必要な運動やゲームを多く経験し、理解する。	○		◎						
18JEDK1211	教科音楽	1	ソルフェージュ(リズム・音程関連)と音楽理論(楽典)の理解と歌唱の基礎的な技術や表現方法の練習を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1)基礎的なソルフェージュと音楽理論の知識を理解する。 (2)基本的な発声を行うことができる。 (3)基本的な譜読ができる。					◎				
18JEDK1213	教科器楽基礎	1	読譜力とリズム感の涵養およびピアノの演奏技術の基礎練習を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1)基礎的な譜読をするための知識を理解する。 (2)初歩的なピアノ曲の演奏ができる。					◎				
18JEDK1215	教科図画工作	1	幼児の発達段階と造形表現の関連についての理解と造形表現の体験的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1)製作の道具の使用方法や材料の特性について理解する。 (2)課題製作において、テーマに沿った効果的な自己表現をすることができる。					◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2			
18JEDK1535	保育実習指導ⅠA	1	保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解する。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。			◎	○					○		
18JEDK1122	日本国憲法	1	教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念とその表現である主な条文について理解を深める。	(1) 憲法と法律の違いを説明できる。 (2) 日本国憲法についての基本的知識をもつ。 (3) 社会の諸事象を日本国憲法に照らして考えることができる。	◎										
18JEDK1182	英語会話Ⅱ	1	聴く、読む、書く技能を使いながら英語による発話能力を高めることを目的とする。	「英語会話Ⅰ」で身につけた基本的会話表現・スキルを応用し、さまざまな状況で英語による意思伝達ができるようになることを目標とする。	◎		○								
18JEDK1124	体育Ⅰ（講義）	1	体育・スポーツについての講義と体験的活動を通して、教育者・保育者に求められる健康と安全についての知識と技能を身につける。	(1) 安全対策の理論的背景について理解する。 (2) 水泳を安全に実践することができる。 (3) 教職に対応できる技能の習熟と安全で効果的な指導法を習得する。	◎		○								
18JEDK1522	伴奏法と弾き歌い	1	ピアノ演奏の体験的・探究的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 自己の技能に応じたピアノ曲を演奏することができる。 (2) 童謡や唱歌の弾き歌いおよび伴奏をすることができる。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎								
18JEDK1222	保育の心理学Ⅰ	1	教育・保育の実践にかかわる心理学の基礎的知識を習得し、子どもへの理解を深めることを目的とする。生涯発達の過程を理解することが求められるが、特に乳幼児期の発達の過程とその特徴を理解することが中心となる。また、その発達が人との相互的にかかわりを通してなされていくことを理解することも重要である。乳幼児期以降の発達についても、各発達時期の様相と課題について理解していくことが求められる。	(1) 重要な発達理論を説明することができる。 (2) 各発達時期の特徴と課題とを述べることができる。 (3) 乳幼児期の保育において、発達心理学から導かれるポイントについて、論じることができる。			◎								
18JEDK1542	障害児の発達教育論	1	特別支援教育の実践に必要な基礎として、障害をもつ子どもの心身の発達、およびその発達に即した教育の必要性と手法について学ぶ。	(1) 障害をもつ子どもの心身の発達を知る。 (2) 特別支援教育の実践に必要な基礎を学ぶ。 (3) 障害をもつ子どもに即した教育の必要性と手法を学ぶ。	◎										
18JEDK1224	保育内容・健康	1	保育内容「健康」の目標や乳幼児の健康な心と体の発達を正しく理解し、健康で安全な生活が営めるようにするための保育のあり方や援助の仕方を学ぶことを目的とする。	(1) 発達年齢に応じて健康で安全な生活を営む力を身につけていくための保育のあり方を理解すると共に実践力を獲得する。 (2) 獲得した知識を活用し、課題を解決する力を持つ。 (3) 保育内容「健康」の目標を正しく理解し、保育実践の場で生かされる技能を身につける。			◎	○							
18JEDK1226	保育内容・表現Ⅰ	1	幼稚園教諭および保育士として、幼稚園教育要領・保育所保育指針の目標を達成するために必要な、領域「表現」の基本的知識を理解し、指導方法を考える基礎を養うことを目的とする。	(1) 保育実践に関する知識の理解 (2) 指導のための基礎技能・連絡調整スキル (3) 保育者としての指導力・チームワーク (4) 統合的な学習経験と創造的思考力を身につける。			◎	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
18JEDK1524	社会福祉	1	この科目では、社会福祉の概念、社会福祉のサービス体系、現代家族の抱える生活課題を理解することを通して、支援の意義と視点を把握することを目的とする。	(1) 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 (2) 社会福祉と児童福祉および児童の人権や家庭支援との関連性について理解する。 (3) 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 (4) 社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組みについて理解する。 (5) 社会福祉の動向と課題について理解する。		◎								
18JEDK1526	社会的養護	1	児童のおかれている状況と社会的養護の現状を理解し、自分の「こども観」をもつとともに、社会的養護を実践するための理論と方法を理解し、習得することを目的とする。	(1) 社会的養護の現状と課題について理解し、説明できる。 (2) 社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (3) 社会的養護と児童福祉の関連性および児童の権利擁護について理解する。 (4) 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (5) 社会的養護における児童の人権擁護および自立支援等について理解する。 (6) これからの社会的養護のあり方について、自分の意見を持つことができる。		◎								
18JEDK1528	子どもの保健 I A	1	子どもの健康と保健の意義をふまえ、子どもの健康を支える家族と社会システムを理解し、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の役割と責務について学ぶ。そして各発達段階にある子どもの特徴を理解し、子どもと家族、個人や集団を対象とした保健活動を行う能力を身につけることを目的とする。	(1) ライフサイクルにおける小児期の健康と保健の意義を理解する。 (2) 子どもの健康を支える家族、母子保健・福祉システムについて理解する。 (3) 子どもの成長発達過程と小児各期の子どもの特徴と健康生活および健康問題を理解し、子どもと家族への保健的対応を理解する。 (4) 小児集団における疾病予防、衛生環境整備、安全管理について理解する。		◎								
18JEDK1530	乳児保育	1	乳児保育の概要と、保育士に求められる乳児保育に必要な基本的知識や保育方法・技術などについて具体的に学ぶことを目的とする。	(1) 乳児保育の理念と歴史の変遷、役割などを理解する。 (2) 保育所、乳児院における乳児保育の現状と課題を理解する。 (3) 3歳未満児の発育・発達を学び、その健やかな成長を支える生活や遊びを理解し、基本的な援助技法を習得する。 (4) 乳児保育の計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成や観察・記録を理解する。 (5) 保護者や関係機関との連携について理解する。		○	◎							
18JEDK1534	保育実習指導 I B	1	保育実習指導 I Aや既習科目も踏まえて、保育所と施設での現場実習を円滑に実施し、学びを深めるために必要な基礎的な知識、技術、および姿勢・態度を理解し、習得することを目的とする。	(1) 保育実習の意義と目的を理解する。 (2) 保育実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 (3) 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法・内容について具体的に理解し、習得に努める。 (4) 保育士の倫理について理解する。 (5) 保育実習後の課題把握の契機をつくり、学習目標を明確にする。 (6) 実習生としての心構え、社会人としてのマナーを理解し、習得する。			◎	○				○		
18JEDK1592	保育実習 I (保育所)	1	保育所の見学・観察、子どもの生活や遊びへの参加を通して、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能について具体的に理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得することを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して、子どもへの理解を深める。 (3) 保育および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			◎	○					○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2		
18JEDK1594	保育実習 I (施設)	1	保育所以外の児童福祉施設の見学・観察、生活などへの参加を通して、児童福祉施設などの役割と機能、保育士の職務、児童や成人の発達、保育・養護や援助の方法について理解する。それによって、保育士として必要な価値・倫理、知識、技術の基礎を修得することを目的とする。	(1) 児童福祉施設などの役割や機能を具体的に理解する。 (2) 観察や関わりを通して児童や成人への理解を深める。 (3) 保育や養護、支援、および保護者支援について具体的、総合的に学ぶ。 (4) 保育や養護、支援の計画、観察、記録および自己評価等について具体的に理解する。 (5) 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			◎	○					○	
18JEDK2216	教科国語	2	国語表現の特徴の理解と国語表現の体験的活動を通して、幼児教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 国語による表現の特質や技法について理解する。 (2) 目的に応じて的確に話したり文章に表現することができる。		◎								
18JEDK2541	アンサンブルと弾き歌い	2	ピアノ演奏の体験的・探究的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の向上を図る。 ピアノの技術をさらに高めると共に、音楽性を豊かにし現場での子どもの指導が自由自在に行えること、また音楽の楽しさを実感することを目標としている。	(1) 伴奏法と弾き歌いで演奏したピアノ曲より高度なピアノ曲を演奏することができる。 (2) 連弾曲やピアノデュオ曲を演奏することができる。 (3) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した演奏を伴う活動を行うことができる。			◎							
18JEDK2213	教科体育	2	乳幼児の心身の発育発達の知識の理解と運動遊びの体験的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 乳幼児の運動機能の発達段階とその個人差を理解する。 (2) 運動を安全に行うための配慮の視点を理解する。 (3) 安全に運動を実施することができる。 (4) からだひとつで楽しめる遊びやさまざまな遊具を活用した運動遊びを創案するための発想を身につける。 (5) 自分自身が運動遊びを楽しめるような多様な動きや体力を身につける。		◎	○							
18JEDK2221	保育・教育課程論	2	保育・教育課程とはどのようなものであるかを学び、その必要性と重要性を理解し、保育の質向上に不可欠なものであることを認識する。また、保育課程、教育課程の編成と指導計画の作成、作成上の留意点などへの理解を深め、実際に指導計画を作成する際に必要な基本的知識を身につけることを目的とする。そして、様々な保育課程、教育課程、指導計画に触れ、子どもの豊かな成長、発達を支える保育者、教育者に必要な専門性についても考えを深めることを目的とする。以上のことを通して、保育・教育における子どもの主体性と保育者の主体性、専門性について考える姿勢と基礎を養うことも目的としている。	(1) 保育・教育課程の意義を理解し、説明できるようになる。 (2) 保育・教育の計画、実践、省察・評価の過程について動的にとらえ、理解、実践していく力を身につける。 (3) 保育・教育における子どもの主体性と保育者の主体性、専門性、社会的責任について考える姿勢を持ち、保育者が積極的に子どもの姿から育ち、学びを読み取る視点をもつ重要性を理解し、その力を身につけるにはどうすればよいかを考え、保育者を志す者としての倫理観に基づき、自ら学ぶ姿勢を持ち続ける。		◎								
18JEDK2223	保育内容・人間関係	2	保育内容「人間関係」のねらいや内容を理解し、乳幼児の人間関係の発達に関する基礎知識を理解し、子どもを取り巻く様々な人間関係について学ぶと共に、保育者としての役割や保育の在り方を学ぶことを目的とする。	(1) 人と関わる力についての発達に関する知識を理解し、発達や目的に応じた保育の在り方など実践力を獲得する。 (2) 子どもを取り巻く環境の変化と人と関わる力の育成における今後の課題について問題解決力をもつ。 (3) 獲得した知識や態度、コミュニケーションスキルを活かし、保育実践の技能を身につける。		◎	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
18JEDK2231	保育内容・環境	2	環境の意義や乳幼児理解についてなど幅広く学び、幼児にとって身近な環境の特性を理解する。また環境に関する基礎的な知識や内容・技能を習得するとともに、環境と関わる力を育てる保育内容を考え、内面を育てる豊かな環境の構成ができる保育者を目指す。	(1) 乳幼児にとって身近な環境の特性を理解し、環境と関わる力を育てる保育内容について考える。 (2) 自ら進んで日常から「環境を観る目」を育て、温かな価値観をもつ保育者を目指す。 (3) 乳幼児の成長発達にとっての環境の大切さを学び、幼児の内面に「何が育つのか」を考え、理解していく。		◎	○						
18JEDK2225	保育内容・表現Ⅱ	2	遊びの中で幼児が心豊かに育つためには、保育者の感性が問われる。幼児がイメージを広げ、伸び伸びと表現活動を楽しむためには保育者として、どのような援助や環境構成が大切かを学ぶことを目的とする。	(1) 遊びの中で乳幼児の表現とはどのようなことかを知り、一人一人の幼児の心を理解する大切さを学ぶ。 (2) 伸び伸びと表現する楽しさや、いろいろな素材を使った製作活動、人とかかわる楽しさを身につけ、実技をとおして実践力を身につける。		◎	○						
18JEDK2227	保育・教育相談支援	2	小学校・幼稚園・保育所において、乳幼児や児童の発達に関する心理学知識をもとに、子どもの特性を理解し、子ども自身および保護者の支援についてその内容と方法を具体的に理解する。	(1) 乳幼児期における心理的発達の特徴を理解している。 (2) 乳幼児期における心理的な問題を理解し、実践に活かすことができる。 (3) 乳幼児期における保護者の悩みを理解し、実践に活かすことができる。			◎	○					
18JEDK2229	教育実習指導(幼)	2	教育実習の意義を自覚し教育実習に臨めるようにするための基礎的・予備知識や技能の習得を目指すと共に、事前学習と実習園での実体験を結合させる。また、実習後の振り返りを行いつつ、教職への認識を確かなものとする。	(1) 教育実習に備えて、実習についての知識、技能、心構えを習得する。 (2) 保育指導案の作成、教育実習記録の記入方法を学び、ポイントを定め、まとめられるようになる。 (3) 実習体験報告交換会等の中で、進んで自己課題を発表し合い、他者と学びを深め合えるようになる。			◎	○				○	
18JEDK2521	相談援助	2	1. 保育士として、子ども・保護者・地域とかかわるうえで、必要な対人援助について学ぶ。 2. 援助の進め方、援助技術の方法と技術について学ぶ。 3. 事例検討を通して、クライアントが抱える課題やその背景などを理解する。	(1) 相談援助の意義・機能を理解することができる。 (2) 他者理解・自己理解の重要性を理解することができる。 (3) ソーシャルワークの意義と援助技術の方法を理解することができる。 (4) 面接技法の基礎を習得することができる。 (5) 事例検討を通して、クライアントが抱える課題やその背景などを理解することができる。		○	◎						
18JEDK2523	保育の心理学Ⅱ	2	主に保育士を目指す人を対象に、子どもの心身の発達と保育実践について理解を深めることを目的とする。	(1) 子どもが生活と遊びを通して学習し、発達していく姿を「見取る」ことができるようになる。 (2) その見取りをもとに発達援助を関係者と協働して実践する能力を身につける。			◎						
18JEDK2525	子どもの保健ⅠB	2	様々な健康段階にある子どもの理解を深め、求められる対応や援助ができる基礎的能力を習得することを目的とする。	(1) 知識・理解：子どもの保健教育の果たす役割を理解する。 (2) 思考・判断：子ども一人ひとりを尊重し、人間育成の重要性を専門的に判断できる。 (3) 関心・意欲：現代社会の情報をキャッチし、自分の知識や技能を見直し、高められる。 (4) 態度：自ら課題に取り組み、子どもに対する温かい育みの態度を示すことができる。 (5) 技能・表現：子どもの安全に配慮しながら、求められる発達課題への関わりを達成できる。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
18JEDK2527	子どもの食と栄養	2	健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を有する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通した保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。	(1) 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を理解し、それらを活用し、生活者として望ましい食生活が実践できる。 (2) 子どもの成長や状況に応じた栄養、食生活を理解し、他者に自分の言葉で説明ができる。また適切な食事の提供や、食事指導ができる。 (3) 食育の基本と内容を理解し、保育の中で実践できる。		◎							
18JEDK2528	ことばと表現	2	保育を行うために必要な児童文化財についての基礎知識を理解し、児童文化財の活用の担い手になる力量を身につけ、子どもの心を豊かにするとともに、遊びや表現活動を展開するための援助や環境について学ぶことを目的とする。	(1) 保育内容を理解し、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。 (2) 言語表現に関する知識や技術を習得する。 (3) 表現活動に係る教材研究および環境構成、保育の展開のための技術を理解し、習得する。 (4) 児童文化財について広い知見を持つ。		○	◎						
18JEDK2529	社会的養護内容	2	社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理責務について、施設や里親養護などの具体的に様々な事例を通して学ぶ。さらに、支援の計画を作成し、事例分析を通して理解を深める。	(1) 社会的養護における児童の権利擁護や保育士などの倫理・責務について具体的に学ぶ。 (2) 事例を通して、施設養護および他の社会的養護の実践について学ぶ。 (3) 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援の内容について具体的に学ぶ。 (4) 社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解する。 (5) 社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解や認識を深める。		◎	○						
18JEDK2533	障害児保育	2	障害児保育の理念や概要、保育士に求められる障害児保育に必要な基本的知識や保育方法・技術、そして保護者支援などについて具体的に学ぶ。	(1) 障害児保育の理念と歴史の変遷、役割などを理解する。 (2) 様々な障害について理解し、子どもの理解や援助の方法、環境構成について学ぶ。 (3) 障害のある子どもの保育の計画を作成し、個別支援および他の子どもとの関わりのなかで育ち合う保育実践について理解を深める。 (4) 保護者や関係機関との連携、保護者支援について理解する。 (5) 障害児保育の現状と課題について理解する。		○	◎						
18JEDK2535	保育実習指導II	2	保育実習IIのための事前・事後指導を行う科目である。保育実習Iでの保育所と施設の実習経験、既習の教科の内容を踏まえ、二度目の保育所実習を行うために、より実践的な学びと、よりよい保育の展開のための総合的な学びを進め、豊かな保育実践力を身につけることを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や保育実習Iの経験を踏まえ、保育および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。			◎	○				○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18JEDK2591	保育実習Ⅱ	2	保育所における参与観察や指導計画の立案と実施などを通して、保育実習Ⅰの学びを深化させると同時に、乳幼児の発達、保育士の職務内容や職業倫理、保育所の役割や機能に対する理解を深める。それらによって、保育士に求められる価値・倫理、知識、技術の修得を目指すとともに、自己の課題を明確にすることを目的とする。	(1) 保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。 (2) 子どもの観察や関わり方の視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3) 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育および保護者支援について総合的に学ぶ。 (4) 保育の計画、実践、観察、記録および自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 (5) 保育士の業務内容、専門性および職業倫理について具体的実践に結びつけて理解する。 (6) 保育士としての自己の課題を明確にする。			◎	○				○	
18JEDK2002	幼児教育・保育研究	2	自分で選択したテーマについての理解を深めるとともに、教育・保育に関する課題を自ら探究する力を高める。	(1) 研究に必要な幅広い知識と、研究を進めるためのスキルを身につける。 (2) 教育・保育に関する多様な考えを理解し、自分の見解をもつことができる。							○		◎
18JEDK2212	教科算数	2	算数科の基礎的な概念の理解と数学的な思考活動を通して、幼児教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の基礎的な知識について理解する。 (2) 「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の内容の系統性を理解する。		◎							
18JEDK2214	教科生活	2	「体験」の意義の理解と生活科学学習の探究的活動を通して、幼児教育に携わる教師としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 生活科の教育原理を理解する。 (2) 生活科の教材研究を行うことができる。		◎							
18JEDK2540	感性を育む造形表現の展開	2	造形表現の体験的・探究的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 製作の道具を的確に使用し、材料の特性を生かした作品を製作することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
18JEDK2542	身体表現	2	身体表現の体験的・探究的活動を通して、幼児教育に携わる教師・保育者としての資質・能力の基礎を養う。	(1) 乳幼児期の運動発達を踏まえた身体表現遊びを創案することができる。 (2) 学習した内容を踏まえて、自分の意見を持つとともに、各自で工夫した活動を行うことができる。			◎						
18JEDK2544	人権教育と福祉の研究	2	1. 幼児教育者になるのにふさわしい、人権と福祉に関する意識および知識を身につける。 2. また、それを通して子どもの人権・福祉を尊重できる保育者になることを目指す。 3. 保育者はすべての子どもが小学校に入学するまえに、就学前までに必要な能力を身につけさせなければならない。それには、様々な困難がともなう。そのような問題を、人権と福祉の観点より探究する。	(1) 子どもの人権と福祉を尊重する精神について学び、それを実行する際の具体的な配慮事項や実践事例等につき、基礎的知識および技能を修得する。 (2) 人権・福祉に係る探究方法としてのグループ・ディスカッションの作法なども実践的に学ぶ。		◎							
18JEDK2546	保育制度論	2	保育制度は、長年問題とされつづけてきた「幼保一元化」の解決がまだみえていないなど、さまざまな問題をかかえている。幼児教育・保育関係者は制度のなかで幼児教育を行わなければならない。保育制度に関する答申などを読むことを通して、近年何が問題となっているかについて理解を深めるとともに、保育者としての資質能力を高めることを目的とする。	保育について、制度的な面からも知識・理解を深め、よりよい保育者となるために資質・向上をはかることを目標とする。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
18JEDK2548	教育情報処理	2	これまでに学んだ内容を基に、教職に必要な情報教育についての高度な情報活用能力を獲得し、情報化社会に即応した教育を適切に実践できる能力を育てる。	情報表現力の一つとして文書表現だけでなく、画像・映像の処理やそれらの活用について学び、実践する力を身につける。			◎				○		
18JEDK2550	保育指導法（保育と環境）	2	幼児期の保育は環境を通して行うものである。保育における「環境」の意味と重要性について理解し、環境を通して子ども達の健やかな発達を保障することのできる保育のあり方（環境の構成・再構成）について学ぶことを目的とする。	(1) 保育における「環境」の意味と重要性を理解する。 (2) 乳幼児の育ちを支える保育環境（子ども自らが関わる環境、安全な環境、温かな雰囲気と生き生きとした活動の場、人とのかかわりを育む環境）を構成することができる。			◎						
18JEDK2292	教育実習（幼）	2	幼稚園での教育実践を体験することで、授業で学習した理論・方法を活用しながら、幼稚園教師を目指すものとして必要な保育観・知識・技能・態度などを学び、指導力をつける。	(1) 保育者としてふさわしい服装・ことばづかい・態度で実習に参加する。 (2) 幼児に対して思いやりのある態度で接し一人ひとりを理解しようとする。 (3) 指導内容について教材研究を行う。 (4) 記録を書くことを通して課題意識を明確にする。			◎	○				○	
18JEDK2222	保育・教職実践演習（幼）	2	保育・幼児教育の担い手としての生活をより円滑にスタートできるよう、保育者になる上で必要な資質能力についての自己の課題を自覚し、不足している知識や技能等を必要に応じて補い、その定着を図る。	(1) 保育者として、使命感・責任感・教育保育的愛情等を有している。 (2) 社会性や対人関係能力を有している。 (3) 子どもを理解し、学級経営等を行うことができる。 (4) 保育内容等を豊かに開発し、これを保育実践に計画的に生かしつつ指導することができる。					○		○	○	◎
18JEDK2522	子どもの保健Ⅱ	2	子どもの健康・保健ならびに保育に関する既習の知識を統合し、より実践的な学びを目的とする。さらによりよい保育の展開のための総合的な学びを進め、豊かな保育実践力を身につけることを目的とする。	(1) 子どもへの保健活動の果たす役割を理解する。 (2) 保健活動計画と評価について理解する。 (3) 疾病予防や健康増進のための支援を習得する。 (4) 安全・衛生管理と環境構成を行うことができる。 (5) 子どもの安全に配慮しながら、求められる養育課題への関わりを達成できる。 (6) 病気やけがの対応および救急時の対応を習得する。 (7) 子ども一人一人の個性を尊重し、人間育成の重要性を具象を通し判断することができる。			○		◎				
18JEDK2526	家庭支援論	2	社会生活で最初にして最期まで関わる最小集団である家族・家庭のなかで、こどもの成長・発達過程との関わりから、家族成員間での意識・行動や問題発生の機序と、それらに対する制度や支援の方策等について理解する。	(1) こどもおよびその家族に関する知識およびアセスメントの知識・技術を修得する。 (2) (1)を通して家庭とそこに生じた家族間の葛藤・課題についての知識を修得する。 (3) こども子育て支援に関わる制度や諸機関（児童福祉関連施設など）についての役割や各種事業など支援体制を理解する。			◎					○	